



歡待 かんたい
種放 しゅほう
祭 まつり
い

十八禁

皆様ごきげんよう
最上型重巡の二番艦
三隈です

この鎮守府で
提督の秘書官を
やらせて
頂いてるの

まずは提督を
起こして
朝のご挨拶を
するのだけれど

秘書官の朝は
とっても早くて
起きるのも大変!

提督、

私室の方には
いらつしやら
なかつたけど……

もう
執務室に
いらしてるの
かしら

執務室

提督?



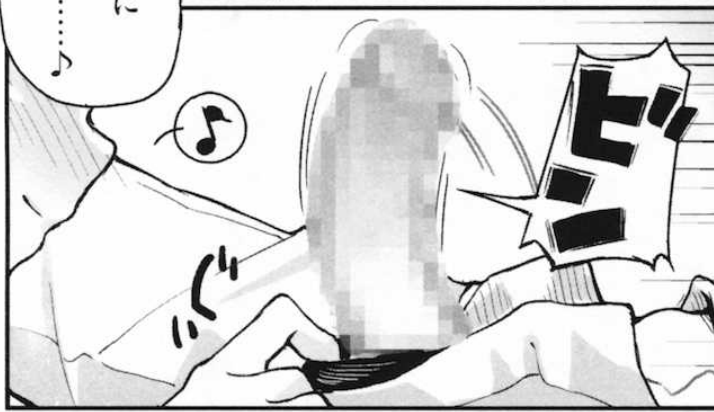
まあ!

執務室でお休みに
なられたのね……

昨夜はそんなに
お仕事あつた
かしら……?

ぽん きん







勿論、

これは秘書官の
仕事では
ないのだけ
けれど



なんて
言ったら
いいん
でしょ
う……



三隈の
日課の……

この
お味は……



提督っ！

ガ

ぱ

ふがっ!?

みっ
三隈っ!?

とき...!?
どうしたっ!



でも

昨晚どなたかと
同衾なされた
でしょう!

こんなことを
しているからって

決して三隈が
いやらしい娘な
ないのよ!?

ん
なんで...



って

おま...

まさか精液の
味で察したの...

やらしく
なったなあ

むしろ

そう

提督が
いけない人
なのっ!



提督ったら

て、
提督

駄目

駄目です

今は執務中
ですよお

執務の合間に
すぐお盛りになって
迫ってくるのよ?

それも何度も

その執務に
集中するために
な?
な?

こら?

私も
否やを唱える
のだけれど



舌だして

くた

は

三階の

何かと
理由を付けて
聞き入れて
もらえなくて



お時にはおでこー

提督?

手や口になんてまだいい方



さやあ!



さらにはお鼻から啜らされるなんて時もある……

んっ

は

おは

は



それに 提督ったら
すごい量を
お射精しになるのっ

三隈のお洋服が
台無しにされる
ことなんて
日常茶飯事

しっか
り着替
えは
用
意
さ
れ
て
い
た
り
す
る
の
だ
け
れ
ど
……

口から提督の
精が香ってしま
う
ん
じ
や
な
い
か
つ
て
心
配
に
な
る
く
ら
い

飲み込んだ
後には、





それに
お味の方も—

おん
おん

美味し、
くはない
けれど...

青臭さと
しょっぱさが
混じって...



とても
食べられる物では
ないはずなのに

すんなり
喉を通って
しまったの!

おかしい
わよね?



なんだか
癖になつて
しましそう

三隈
三隈



開口
見せて



おん

おん

おん

今では
提督とランチを
一緒にする時は
毎回のよう……

カレーに
合うわ……

程よい
辛さなり
あつたわ

三隈
すっかり毒されて
しまいました……



そうなって
からは

私が自分から
はしたない事を
言い出してしま
う時もあるの

提督
気持ちいい？

うむ
苦しゅうない
ってな





提督？

ん？

三隈、
ボディソープを
切らして
しまっていて

“提督の”を
使わせて頂いても
いいかしら？

ん、いいぞ

では
こちらを向いて
お立ちになって♪



立つ？

なんで？
って

お前
まさか……



ああ……

“提督の”

ほんのり
温かくて

すっごい
どろどろです♪

ぬりゅ

ビチャ

ぬりゅ

……三隈ったら
気付きませんでした

ヒリ
ニ

ん……
段々泡立って
きまりましたわ♪
フキヤ

提督が、
シャンプー
の方まで

用意して
下さって
いたなんて♪



でも、
髪の毛一本一本まで

提督に侵される
って想像したら

と思いは
したのよ？

落とすのが
大変！
匂いが
染み付きそう！



最近では
念入りに
ブラシまで……

昂ぶりを
抑えきれなく
なってしまうって

あ……
我ながら
ではした
すわ……

勿論
身体を重ねる
ことも多いの

キーン
ズルズル

IP
IP
IP

IP
IP
IP

IP
IP

もうー

提督ったら、
今は外に
お願いしたのに……

出撃中に
漏れてきたら
どうしてくださる
のかしら

まあ！
どうやって？

よし俺が
その不安を
取り除いて
やろう

もう
あまり時間
がないけれど



大丈夫
大丈夫

さっきの
残りがすぐ
出そうだから

ほら 三隈

スカート上げてっ

でも

やっぱり提督は
一癖も二癖も
あるお方で……

え？

？

？

残り？

提督？ 何を——

出す？



つふう

これで
膣から漏れてくる
心配はしなくて
済むなっ
もうどろだし

ちが
あ



今日は
こちらにも

下着の感触は
いいと言え
るものでは
ないけれど
癖になっ
てしまっ
て——
提督に
包まれて
いるよう
な高揚感
が

提督
三隈
今日スポ
ーツブラ
にしても
の
これなら
その
漏れにく
いと思っ
ただけ
ど

提督を
くださ
らない
かしら



三隈
どこへい
ってしま
うん
でしょ
う……





あー

提督を直に
感じられるから

やっぱり
私は

あ、
あんなことを
求めてしまう
のだけれどっ

みくま

みくま

みくま

みくま

みくま

普通に
愛し合うのが
一番好きなの



本当よ？

あー

はー

みくま

みくま





◆あとかき◆

初めましての方もそうでない方もこんにちは、彩社長です。
今回はこの本をお手にとって頂き、ありがとうございました。

結構前から精液であれこれするネタを描きたいなーと思っていたんですが、
ちょっと感銘を受ける作品に出会ったりしたのと、
個人的に三隈がなんかしっくりきたので、こんな形の本になりました。

なんだか精液と戯れてばかりで、どこが抜きどころなのか
よくわからない本になったような気がしますが……。

読んだ皆様が少しでも楽しめたのなら幸いです。
僕は楽しかったので(

風呂とか洗濯とか鍋とか、
もうちょっと派手なネタも入れたかったような気もしますが、
これであと「一度は出したいと思ってるネタ」はスカトロだけだなぁ(小声

それでは、
こんなところまで読んで頂き、本当にありがとうございました。
また次回、どこかのイベントの何かの本でお会いしましょう。

彩社長

スペシャルサンクス:ケンジくん

誌名: 欲待種放祭り
発行日: 2013/12/30
発行: 極彩色
代表: 彩社長
印刷: くりえい社 様

本書の無断転載、アップロード等は禁止です



種放 歓迎祭

